

Q 就学援助について

A 経済的理由で就学できない子どもがいないようにしたい

問 町が就学困難な児童生徒の保護者に対する援助が、年々増加傾向にあり、児童生徒の8・1%が対象にあることをどう考えるか。

町長 現在の不景気な状況とか、あるいは格差社会を反映しているのではないかと。経済的理由で就学できない子どもがいないようにしたい。

ようにしているのか

町長 地域の民生児童委員、学校、教育委員会が連携をとって対処している。具体的には、保護者からの相談時や給食費等が滞る場合など、そのような方に事情を聞いて状況に応じて就学援助を勧めている。

問 就学援助の認定基準は。

町長 基本的には収入を基準として判定しているが、

家族構成、年齢、住宅形態等も加味している。また、民生委員の意見や学校での児童生徒の状況を見て総合的に判断している。

問 収入等が認定基準すれすれの場合どう対処するのか。

町長 その他制度でも、このような問題点があるが、新年度から子ども手当がスタートするのでその動向などを参考に今後検討する。

Q 阿津賀志山整備について

A 具体的な計画はないが、防塁調査や道の駅と併せて進める

問 町の活性化は人の賑わいが作り出すもの。来町者を増やすため阿津賀志山山頂の整備と麓からのハイキングコースをつくったらどうか

町長 阿津賀志山は町のシンボルの山。また、阿津賀志山防塁が残る史跡の山であり、地域活性化を進める上で非常に重要な資源である。ハイキングコースについては、平成20年3月に策

定した阿津賀志山整備構想の中にある。今後地元権者のご理解を得ながら取り組んでいく。

問 昨年阿津賀志山三十三観音八十八大師画像碑群を調査したが、それを生かした整備を進めるべきだと思

町長 この史跡があることで阿津賀志山は町のシンボルの山だけでなく、信仰の山である。集客を進める上

で非常に重要な史跡である。今後、町の郷土史研究会や地元の地権者の方々と保存と活用について取り組んでいく。

問 阿津賀志山整備構想に関する懇談会を設置したが、その後どうなっているのか。

町長 この懇談会は整備構想を策定するためのもの。整備構想を策定したので、その後懇談会は開催していない。

問 阿津賀志山整備構想をどう進めていくのか。

町長 阿津賀志山だけでは観光の目玉にはならない。中腹から延びる防塁の調査を進め、その復元を図り一体的な整備を図りたい。

問 いつまで整備するのか。

町長 阿津賀志山整備については具体的な計画にはなっていないが、防塁の調査や計画している道の駅と併せて、進めていく。



佐久間靖明議員